

基本目標 だれもが安心して暮らせる環境づくり

-
-
- 重点目標1 健康で安心して暮らせる環境整備
 - 重点目標2 生涯を通じた健康支援
 - 重点目標3 犯罪・暴力の根絶
-
-

【現状と課題】

女性も男性も、お互いの身体の特徴を十分に理解し、思いやりを持って生きていくことはとても大事なことです。特に女性は、思春期、妊娠・出産期、更年期、高齢期等の各ライフサイクルにおいて、それぞれ特有の体の変化とそれに伴う心の不安定感を経験します。このため、女性が自らの健康に関して、正しい情報を得て、自分で判断し、健康を自分のものとしていくことが求められ、そのための支援体制のより一層の充実が必要です。

また、高齢者、障害をもった人、ひとり親世帯の家族等が住み馴れた地域で自立し、地域社会の一員としてあらゆる分野で社会参加できるような体制の充実を図る必要があります。特に障害をもった人やひとり親世帯では、心理的・経済的な負担が大きく、家事・育児・介護等さまざまな悩みを抱える場合が多くあり、それを解決するための相談や情報提供等の充実が求められます。高齢者においては、健康でいきいきと活動し自立した暮らしができるよう予防措置や生活支援の充実が重要であり、さらに介護は女性の役割という意識をなくし男女がともにかかわり、介護をする人も受ける人も安心して生活ができるよう支援体制や情報提供が必要です。

暴力は、誰に対しても決して許されるものではありませんが、特に女性に対する暴力には、身体的・精神的・経済的・性的な行為があり、それらの暴力が複合して、繰り返し継続的に行なわれることが多くなっています。町民意識調査では、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）や配偶者・恋人からの暴力（DV）について、直接経験したことがある回答比率はいずれも約8%であり、「自分のまわりに経験した人がいる」と合わせると、セクハラで約20%、DVで約23%が身近で発生しているとの回答ですが、これらの暴力は、なかなか表に現れにくく潜在化しているケースも多くあります。

これらについては、人権侵害との認識のもと個人的な問題として放置せず、いかなる暴力をも許さない人権を尊重した男女共同参画社会づくりに努め、また暴力によって危機的状況に陥った女性に対しては、相談窓口を充実し、保護・援助を行い社会的・経済的・精神的自立を支援していく必要があります。

重点目標1 健康で安心して暮らせる環境整備

男女共同参画社会の実現には、すべての人が健康で自立し誇りを持って社会参画できるための環境整備が不可欠です。特に高齢者、障害をもった人、ひとり親世帯の家族等が住み馴れた地域で自立し、地域社会の一員としてあらゆる分野で社会参画でき、年齢や障害の有無にかかわらず男女がいきいきと安心して暮らせる社会基盤の整備が求められ、そのための情報提供や各種支援策の推進が必要です。

また、本町のすばらしい自然環境を守り育て、後世に引き継ぐことは私たちの責務であります。そのためには、家庭・地域・職場等において、すべての人が互いに協力しあって環境保全活動に参画することが望まれます。

【施策の方向】

- (1) 福祉・医療・保険の連携による支援体制の充実
- (2) 高齢者・障害者等への各種支援
- (3) ひとり親世帯等への各種支援
- (4) 共に担う環境保全活動

【具体的施策】

- (1) 福祉・医療・保険の連携による支援体制の充実
 - 関係各機関との連携による支援体制の充実
 - 病院・診療所及び介護施設等との連携により、安心して医療サービス・介護サービスが受けられるよう支援体制の充実強化を図ります。
- (2) 高齢者・障害者等への各種支援
 - 高齢者の自立支援の推進
 - 新上五島町老人福祉計画・介護保険事業計画により各種サービス・地域支援事業の充実により自立支援を図るとともに、高齢者が持つ知識や能力を生かす機会と場の充実に努め、地域活動などへの積極的な参加を促進します。
 - 障害者の自立支援の推進
 - 新上五島町障害者福祉計画により各種サービスの充実を図り、障害者の社会参加と自立生活への支援を行ないます。
- (3) ひとり親世帯等への各種支援
 - ひとり親世帯の自立支援の推進
 - ひとり親世帯の不安を除去し安定した自立した生活を送れるよう、就業促進や相談体制の充実を図り経済的・社会的自立支援に努めます。

(4) 共に担う環境保全活動

環境保全活動の推進

島のすばらしい自然環境を守るため、マイバック運動やリサイクル活動などの環境保全活動に、家族が協力しあって参画できるよう積極的な情報提供や支援策の充実を図ります。

地域コミュニティ活動における推進

ごみに関する学習の場の提供や施設見学等の機会を増やし、ごみ問題に関する認識を深めてもらうとともに、地域におけるリサイクル活動への積極的な参加を促進します。

重点目標2 生涯を通じた健康支援

健康は、人がいきいきと暮らしていくための基本的な条件です。特に女性はライフサイクルの中で妊娠や出産など、男性とは異なる健康上の問題に直面します。女性が生涯にわたって心身の健康保持・増進に意識的に取り組み、自らの健康を主体的に確保していくことは、男女共同参画社会を形成していくうえで重要なことであり、健康に関する情報提供や正しい知識の普及啓発また相談機能の一層の充実を図る必要があります。

【施策の方向】

- (1)健康保持に関する支援体制の充実
- (2)妊娠・出産に関する支援体制の充実
- (3)母子の健康に関する支援体制の充実

【具体的施策】

- (1)健康保持に関する支援体制の充実

世代別健康課題の目標達成に向けた支援体制の充実

各世代に応じた健康課題を定め「新上五島町健康づくり計画」により各事業の展開を図り、健康保持に関する各世代別健康課題の目標達成に向けた支援体制の充実に努めます。

生涯を通じたスポーツ活動の推進

だれもが健康でいきいきとした生活が送れるよう、生涯を通じ各世代にあったスポーツ活動が行なえる体制の推進を図ります。

- (2)妊娠・出産に関する支援体制の充実

思春期保健対策と妊娠出産に関する支援の充実

性や感染症予防に関する学習機会の確保や妊娠・出産期における各種健康診査・保健指導・相談・医療サービス等の提供など、思春期や妊産婦の健康支援の一層の充実を図ります。

- (3)母子の健康に関する支援体制の充実

母子の健康に関する支援体制の充実

乳幼児健診・相談・指導等により、母子の健康保持や母親の子育てに関する不安や悩みの解消に向けた指導・助言等、支援体制の充実に努めます。

重点目標3 犯罪・暴力の根絶

暴力は、誰に対しても決して許されるものではありません。特に女性に対する暴力は男女がおかれている状況等により発生する場合もあり、男女共同参画社会を形成していくうえで克服すべき重要な課題です。暴力は人権侵害であり、決して許されるべきでないという社会的認識や地域の中であらゆる暴力を根絶させるための広報活動に努め意識啓発活動を充実するなど、安全・安心のまちづくりを推進する必要があります。

【施策の方向】

- (1) 犯罪の抑止活動の活性化
- (2) 暴力(セクハラ・パワハラ・DV等)の防止対策の推進
- (3) 被害者に対する相談・救済対策の推進

【具体的施策】

- (1) 犯罪の抑止活動の活性化

関係機関との連携による犯罪のない安全・安心まちづくりの推進

長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり推進県民会議新上五島支部を中心に関係各機関と連携をとり、あらゆる情報の共有や犯罪抑止活動を推進し、誰もが安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現を図ります。

- (2) 暴力(セクハラ・DV等)の防止対策の推進

暴力を根絶させるための基盤づくり

配偶者や配偶者以外からの暴力、またセクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントなど女性に対するあらゆる暴力の予防と根絶に向け、町広報紙等により関係法令の周知及び意識啓発の推進に努めます。

関係機関との連携によるDV等の防止対策の推進

警察・福祉事務所・人権擁護委員及び民生児童委員等との連携により情報の共有化を図り、DV等の早期発見と防止対策の推進に努めます。

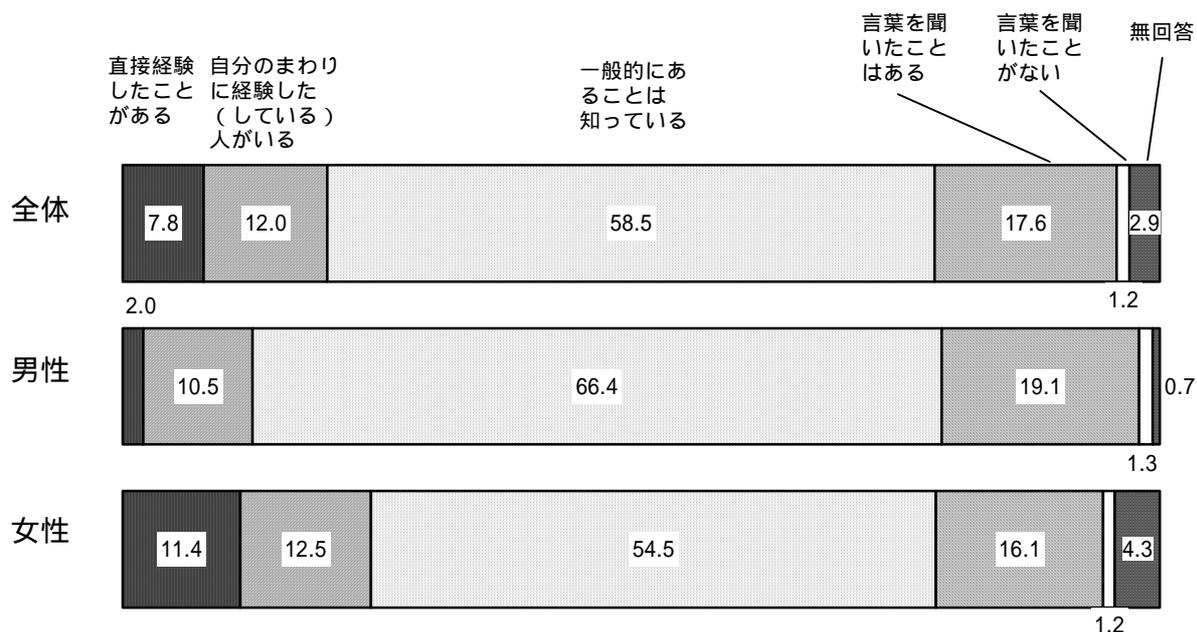
- (3) 被害者に対する相談・救済対策の推進

DV等に対する相談体制及び保護体制の充実

警察・福祉事務所・人権擁護委員及び民生児童委員等との連携により、情報の共有化を図るとともに、被害者支援に役立つ法律・制度等に関する情報提供、相談窓口の周知及び保護体制の充実を図ります。

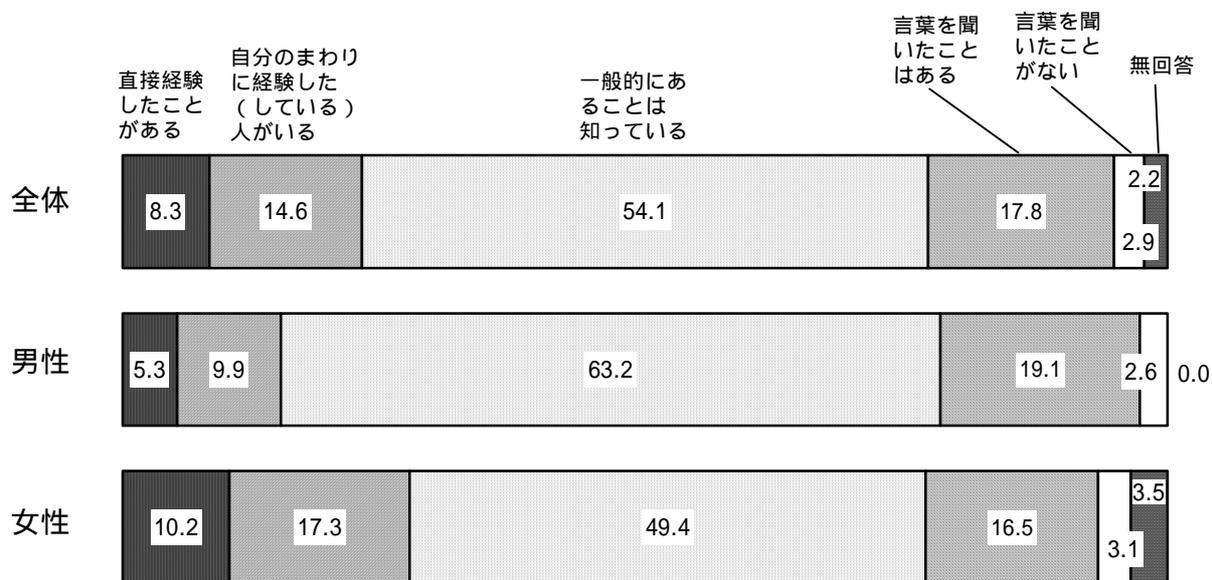
セクハラ被害に関する経験等

(%)



配偶者、恋人からの暴力に関する経験等

(%)



女性への暴力をなくすために必要なこと

(%)

